

異常な行動

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝 中じゃない:×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚悟症 等の既往	睡眠覚悟症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作用 歴	異常な行動に関 する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたよと云っているのか?)	旧資料No				
116	B07000111	11	年	男性	異常行動	2005/2/17 2005/2/18 2007/2/21 2007/2/22 2007/2/22 2007/2/23 2007/2/23 2007/2/24 2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25 2007/2/26	時刻不明 18:00	2005/2/18	2007/2/22	1:00	—	Yes ねぼけ	—	15分	Yes	解熱過程	Yes	Yes ねつのとき に症状+	Yes 母の父、母	—	No	無	2005/2/17 (夕)インフルエンザA治療の為、タミフル投与開始(不明×1/日)。(夜)体温38.8℃ 2005/2/18 (5:00)体温:38.8℃(午前)タミフル(投与量不明)内服。タミフル投与(不明×2/日~07/2/21) (15:00)異常行動あり。10分位。布団に座って「キャッシュが卒業して」と言いながら泣いている。(重篤度不明) 就寝。異常行動(-)。 2005/2/19 インフルエンザの転帰:軽快。 2005/2/22 (朝)本剤投与(不明×1/日)。 2007/2/21 (朝)38℃の発熱。(夕)39℃。来院時37.4℃。B型インフルエンザと診断。本剤処方。(18:00)タミフル内服開始。(75mg×2/日 ~07/2/26) 2007/02/22 (1:00)急に起きてトイレにしばらくこもっていた。父親が引きずり出した。その後階段を昇ったり降りたりを繰り返す。しばらくして親が布団に寝かしたところ、布団で起き上がり、おかしなことを言う(他人と話している)。5分位続いた。母親に「第一子は男の子なの」「お母さんはマリアアントワネット」等と言う。少し斜視気味だが、いつもよりひどくなっていた。この時発熱なく37.0℃台だったことを確認している。夕方より(受診時から)熱はなかったとのこと。異常行動発現。インフルエンザの転帰:軽快。 2007/2/23 翌日、めざめてからは症状(-)。異常行動回復。 2007/2/26 本剤の服用終了。	異-2-27
117	B07000121	11	年	女性	異常行動	2007/2/27 2007/2/27	13:00 21:00	2007/2/27	23:00	—	—	1.5	1時間	Yes	発熱持続	No	Yes (軽いもの)	No	No	No	No	無	2006/2/27 早朝、39℃の発熱、鼻汁、咽頭痛、頭痛を認め、午前中来院。インフルエンザA型と診断。本剤2cap/2分、ボラミン(2mg)3錠、ムコダイン(250)3錠、アストマリ3錠、カロナール(200)1錠を処方。(13:00)38.7℃あり、上記薬剤を服用。(21:00)上記薬剤を服用。(21:30)就寝。(23:00頃)1階にいた家族の知らないうちに、2階より寝巻き裸足のまま家を出て、近隣の家で保護されていた。その後連れ返して、すぐ寝かせ、翌日まで就寝。落ちたのか飛び下りたのかは不明。本人は夢が怖くて窓のシャッターを開けベランダから外に出たといっているが、よく覚えていないとのことであった。何時かは不明であるが、その前の検温では38.7℃であった。 2006/2/28 朝、38.8℃あり、来院。来院時は元気もあり、意識も清明で特に異常所見は認めなかった。咽頭培養にて、A香港型(AH3)を分離している。 2006/3/1 (9:00)36.9℃ (17:00)36.6℃ 2006/3/7 インフルエンザ回復	異-2-28
118	B07000131	11	年	女性	①激越 ②異常行動	①2007/3/4 ②2007/3/5	①不明 ②19:00	2007/3/5	19:00	×	No	—	3日間	No	解熱過程	Yes	No	No	—	No	激越	2007/3/1 かぜ症状あり、日中近医受診。クラリス、アスピリン、プルスマリン、ボルボノールDS、乳酸カルシウム、ラックビーを処方された。(夜)頭痛あり。 2007/3/2 (朝)38.1℃。(日中)36℃台となるも、また発熱。 2007/3/3 (9:30)当院救急受診。咽頭発赤あり、インフルエンザ迅速でB陽性。本剤、ムコダイン、メジコン散、カロナール処方。タミフル(32.5mg×2/日)内服(~3/5)。 2007/3/4 解熱傾向あり、興奮状態で家人が常にみていた。異常興奮(非重篤)発現(発現時間不明)。インフルエンザ軽快。 2007/3/5 (15:00~16:00)昼寝。(19:00頃)自宅リビングのソファの背もたれに乗って、更に立ち上がりそこから床に転落したが、顔を打撲したため口腔内を切って出血。近医受診、処置をしてもらった。その帰宅途中に、ガードレールを乗り越えて走って来る車に飛び込もうとしたため、祖母がガードレール越しに捕まえた。本人が制止を振り切ろうとするが、力が強かったために祖母は転倒し、顔面に擦傷を負った。異常行動発現。(23:00)就寝。 2007/3/6 異常興奮回復。 2007/3/7 異常行動回復。(3日間で回復) 2007/3/27 以上の経緯を聞いた。受傷直後は家人も疲れており、自宅安静にしていた。	異-2-31	
119	B07000163	11	年	男性	譫妄	2007/3/9 2007/3/9 2007/3/10	11:00 20:00 6:00	2007/3/9	14:00	—	Yes	—	10分	Yes	発熱持続	Yes	No	—	No	No	不明	2007/3/9 (11:00)本剤50mg×2回/日投与開始(~3/11)。(14:00)本剤服用3時間後階段を駆け上がった。真っ黒な大きな物に追いかけられた。体を半分に分られるような、痛い痛いと叫ぶ、本人はそれを覚えている。せん妄発現。ふとんで押さえつけ、解熱剤(坐剤)を入れ、10分後に睡眠。その後そのような発作はない。せん妄回復。(20:00)タミフル内服。 2007/3/10 (6:00)タミフル内服。 2007/03/11 インフルエンザ軽快・回復。	異-2-35	
120	B07000260	11	年	女性	幻覚	2007/3/3	不明	2007/3/4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不明	不明 3年前から本剤を処方された場合に投与中に幻覚(重篤度不明、過去には、夜に一人で外をふらつく)がみられた。 2007 インフルエンザ発症 2007/3/3 他院にてタミフル投与開始(75mg×2回/1日)。 2007/3/4 幻覚を見てドアにぶつかり額に裂傷を負い当院形成外科を受診。 2007/3/10 回復。	異-2-45		
121	B07000274	11	年	男性	異常行動	2007/3/19 2007/3/19	①14:00 ②22:00	2007/3/19 2007/3/19	①14:50~15:00 ②23:00~23:05	○	Yes	—	5~10分	Yes	発熱持続	Yes	No	No	No	No	無	①階段を半分まで上がり、母がかげつけると驚き泣く。1階へ連れ戻すと玄関を指し「うんこ!」と怯える。 ②掃除機のホースを外し、先端(T字型)部分に足を入れようとする。「入らないよ」と声をかけると泣く。本体の穴にも足を入れようとする。妹が笑うと怒った様子。 本人の話:夢でマンションから飛び降り、痛み無く、起き上がり歩こうとして、現実に戻る。自分の足を掃除機本体に入れようとしたが自分の体を止められず、その後記憶がなくなった。14:00にタミフル服用し、14:10~就寝。14:50覚醒し、異常行動発現(10分間)。15:05~20:30再び就寝し、21:00に夕食をとる。22:00タミフル58mgを服用し(2/3吐き、1/3飲む)。22:15~再び就寝したが、23:00に目を覚まし異常行動を発現(5分間)。23:10再び就寝し、その後タミフルは服用なく異常行動もなし。	異-2-50	